

# 内閣府 知的財産戦略推進事務局 提出資料

平成29年3月28日



Japan. Cool Japan.



Japan. "Kampai" to the world.  
*Sake & Shochu*

# 「クールジャパン拠点連携実証調査」における実証プロジェクト一覧

- 「クールジャパン拠点連携実証調査」（28年度第2次補正予算事業）において、クールジャパン拠点の連携・ネットワーク化によってクールジャパンの情報発信・人材育成・産業創出等に取り組む先進的プロジェクトを7件採択。
- 今後、各プロジェクトの実証結果も踏まえ、「クールジャパン拠点構築検討会」において拠点連携に関する方策・ノウハウをとりまとめの上、全国に発信・展開することで、民間等によるクールジャパン拠点のネットワーク構築を後押し。

	事業名	実施主体	実証地域	主要分野	連携の 主な目的
1	アニメのイメージとなった地域を核とした拠点間連携による日本の魅力の一体的・効果的発信	(一社)アニメツーリズム協会	飛騨エリア（飛騨・高山・下呂・白川）、東京	アニメ、マンガ	情報発信
2	日本酒と関連分野を組み合わせた海外富裕層向けマーケティングモデルの構築	サイエスト(株)	東京、茨城、長野 等	食文化	情報発信 産業創出
3	ロケ地情報の効果的な集約・発信による海外撮影クルー誘致を通じた地域活性化	(株)Journal Entertainment Tribute	東北地方	映像コンテンツ	情報発信
4	都市部のクールジャパン人材と地方のクールジャパン資源を活用した地方の魅力の効果的発信	(一社)大丸有環境共生型まちづくり推進協会	東京（大手町・丸の内・有楽町エリア）、新潟	食分野	情報発信 人材育成
5	ガストロノミーマニフェストに基づく食と周辺産業の連携による、食分野における日本の国際的発信力強化	(株)辻料理教育研究所	大阪、東京、鹿児島、鳥取 等	食文化	情報発信 人材育成
6	技術とデザインを融合させた最先端デザインラボ設置によるクリエイティブ人材創出の加速	東京大学生産技術研究所	東京	デザイン	人材育成 産業創出
7	空間デザインの発信による家具・インテリア産業のビジネス力強化	(株)東京デザインセンター	東京、金沢、高山、名古屋	インテリア、建築、デザイン	情報発信 産業創出

## 【実証プロジェクト②】日本酒と関連分野を組み合わせた海外富裕層向けマーケティングモデルの構築

### 《目的》

日本酒の生産者や流通業者、小売業者、さらには酒器等の関連分野が相互に連携し、海外富裕層への影響力が大きいインフルエンサーに対して日本酒や関連するクールジャパン資源の魅力を分野横断的・一体的に発信して販路拡大を図る「海外富裕層向けマーケティングモデル」を確立することにより、日本酒等の輸出拡大につなげる。

### 《プロジェクト概要》

#### 視察・商談ツアーやシンポジウムの実施（2/5～9）

- ・日本酒の消費量が多く、今後の発展性が見込めるアメリカと香港の富裕層への影響力が大きいインフルエンサーを招へいし、「日本酒を嗜む空間」をテーマとする視察・商談ツアーを実施。
- ・ツアーにあわせ、長野県において、県内の酒蔵関係者等を対象に、招へい者をパネリストとするシンポジウムを開催。

#### (招へいしたインフルエンサー)



**ロブ・シンスキー**  
米国の名門ワイナリー  
オーナー



**マリア・シンスキー**  
ワイナリー経営に携わる  
とともに、料理研究家  
としても有名



**ダナ・コーウィン**  
NYのレストランChiefs  
Clubのクリエイティブ・  
ディレクター



**ジャック・謝**  
ザ・ペニンシュラホテル香  
港の日本食レストラン「今  
佐」  
のジェネラルマネージャー

日本酒を嗜む空間の提示



日本の酒情報館



酒蔵@茨城  
須藤本家

国内拠点の連携



小売店  
はせがわ酒店



酒蔵@長野  
松葉屋  
本店



榊一 市村酒造場 岡崎酒造

インフルエンサーの発信効果やバイヤーの取引動向を分析し、訴求効果の高い拠点連携の在り方を検証

海外富裕層への訴求効果の高い国内拠点のネットワーク化により日本酒等の輸出拡大

## 【実証プロジェクト④】都市部のクールジャパン人材と地方のクールジャパン資源を活用した地方の魅力の効果的発信

### 《目的》

都心において、①外国語が堪能な都市部の人材を、地方の魅力をツアーを通じ深く伝えることのできるクールジャパン人材として育成するとともに、②地方のクールジャパン拠点に関する情報発信を行う。こうした人材育成や情報発信を行う都市部の拠点と、地方のクールジャパン拠点のネットワーク構築を進めることにより、外国人に対して地方の魅力を効果的に訴求するシステム構築につなげる。

### 《プロジェクト概要》

#### 地域ナビゲータースクールの開講

ナビゲーター活用

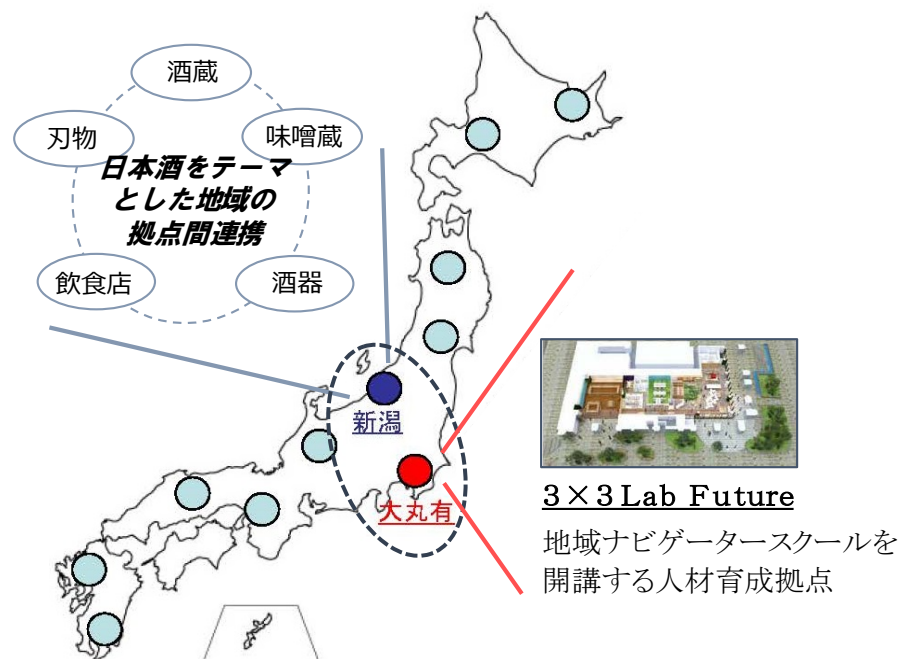
「大丸有」(大手町・丸の内・有楽町)エリアにおいて、外国語が堪能な人材※に対し、地方のクールジャパン資源を国内外の人に深く伝えることができるようにするための教育を実施(2/1～3/1までに計4回のプログラムを実施)。

※ 都市部在住の留学・海外居住経験のある人や、日本在留歴の長い外国人等が受講対象。

〔 今後、受講者を「ニッポンナビゲーター」として登録し、リスト化することも検討 〕

#### ナビゲーターを活用したツアー実施

ナビゲータースクールの一環として、日本酒をテーマとする丸の内ツアー(2/15、16)と新潟ツアー(2/25-26)を実施。



都市部の人材を活用し、外国人に対して地方の魅力を効果的に訴求するシステム構築に向けた方策を検討

都市部のクールジャパン人材と地方のクールジャパン資源を活用した地方の魅力発信

# 【実証プロジェクト⑤】 ガストロノミーmanifestoに基づく食と周辺産業の連携による、食分野における日本の発信力強化

## 《目的》

料理人、農業、観光、教育、自治体等の関係者・拠点が連携し、①日本の食の未来ビジョン(行動規範)となる「ガストロノミーmanifesto」※を策定するとともに、②manifestoに基づいて日本の食の発信・展開等に取り組むことにより、食分野における日本の国際的発信力・展開力の強化につなげる。

※ 持続可能な食文化産業の在り方に関する宣言。特に欧州を中心に、料理人や生産者、研究者等が連携し、manifestoに掲げられた理念(料理の中に季節感を反映、伝統食材の新しい価値探求等)を全世界の消費者に向けて発信する活動が活発化。

## 《プロジェクト概要》

### 海外有識者等を招へいたシンポジウムの実施

- ・ 地方自治体や有識者(日本ジビエ振興協議会)、教育機関等を交え、地方におけるガストロノミーmanifestoの有用性を議論(1/21)。
- ・ ガストロノミーに造詣の深い海外有識者※を招へいし、山形県(2/20)と東京(2/23)においてシンポジウムを開催。日本の食文化の強みなどを議論。  
※ 山形県では、ガブリエラ・モリーニ イタリア食科学大学准教授を招へい。  
※ 東京では、同准教授に加え、グレッグ・ドレーシャー The Culinary Institute of America 副学長を招へい。

### 産業界や地方との連携強化に向けた調査

manifestoの策定・活用に係る観光事業者や教育機関との連携強化を目的としたヒアリング調査を実施。

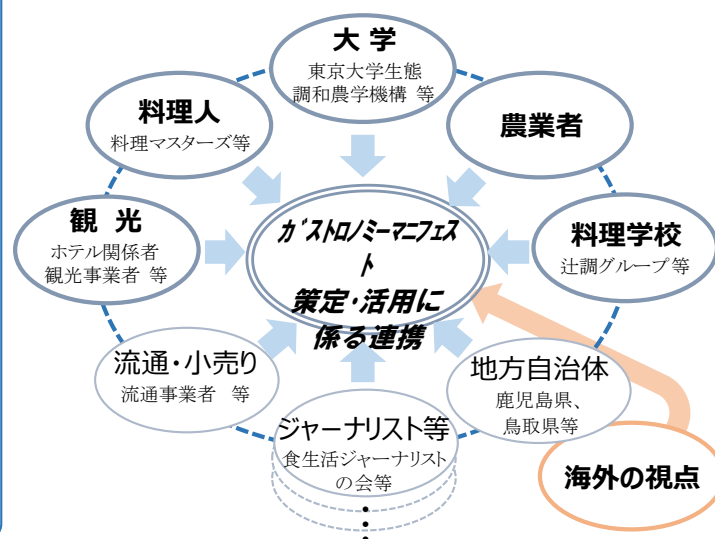
地方・コミュニティ  
視点のインプット

国際視点のインプット

産業界等の視点の  
インプット

manifesto策定部会の開催

様々な分野の関係者を巻き込み、ガストロノミーmanifestoを策定・manifestoの効果的な活用方法を確立。



manifesto策定を通じ、料理人・農業者・内外の学校関係者等による日本の食文化の効果的な発信・展開に資する連携の在り方を検証

食分野における日本の国際的発信力・展開力の強化

地方のクールジャパン資源の発掘・発信を目的として、クールジャパン戦略担当政務と、会議開催地域の自治体や有識者等が一緒になって、クールジャパンの取組に関する成功事例や課題を議論。これまでに10回開催し、28年度は大分県と沖縄県で開催。

### ■ 第9回 大分県別府市（平成28年11月13日）

- 日本産酒類の関係者（久家 里三氏（久家本店 代表取締役））を含む、大分県の有識者の方々と議論
- 当日の議論も踏まえて、大分県版のクールジャパンイニシアティブを作成



### ■ 第10回 沖縄県那覇市（平成29年3月4日）

- 泡盛の関係者（大城 勤氏（沖縄県酒造協同組合理事長）、玉那覇 美佐子氏（沖縄県酒造組合会長））を含む、沖縄県の有識者の方々と議論
- 同日に、県内の泡盛事業者向けに泡盛ビジネスセミナーを開催



**【目的】** 中小零細企業が多く、消費数量が減少傾向にある泡盛業界の海外展開の方策等について検討を行う

**【対象】** 沖縄県内の泡盛製造者（47事業者）、泡盛流通業者等

**【日時】** 平成29年3月4日（土）13:00 – 14:35

**【場所】** 沖縄都ホテル（B1:虹雲の間）

**【定員】** 100名

## **第1部 基調講演（13:00 – 13:35）**

- テーマ 「沖縄の伝統酒類「泡盛」の可能性」
- 講師 長谷川 浩一（株式会社はせがわ酒店 代表取締役社長）

## **第2部 パネルディスカッション（13:40 – 14:30）**

- テーマ 「泡盛の輸出・インバウンドの促進に向けて」
- パネリスト
  - 長谷川 浩一（株式会社はせがわ酒店 代表取締役社長）
  - クリストファー・ペレグリニ（俳優、焼酎唼酒師）
  - 渡邊 賢一（一般社団法人元気ジャパン 代表理事）
  - 玉那覇 美佐子（沖縄県酒造組合会長、瑞穂酒造株式会社 代表取締役社長）
  - 大城 勤（沖縄県酒造組合副会長、忠孝酒造株式会社 代表取締役社長）
  - 浜野 京（内閣府知財事務局参与：モデレーター）



クールジャパン拠点連携実証調査及び地方版クールジャパン会議（沖縄）において、それぞれ日本産酒類振興に活躍する外国人を新たにクールジャパン・アンバサダーに任命。

### クリストファー・ペレグリニ (俳優、焼酎唎酒師)

アメリカのバーモント州出身。  
スペインと韓国を経て日本を訪れた時に焼酎と泡盛に出会い、

夢中になる。何年もの勉強を重ね、焼酎唎酒師の資格を獲得。今では、日本の食文化を紹介するセミナーやインターネット番組のホスト、フードコンサルティングの他、オックスフォード大学出版局によるThe Oxford Companion to Spirits and Cocktailsにおいて焼酎と泡盛について寄稿するなど様々な活躍している。



### ジャスティン・ポッツ (株式会社Umaru 国際 ビジネス開発ディレクター)

1981年アメリカ・ワシントン州  
生まれ。

来日後関東・関西を行き来しPR・国際ビジネス展開のプランニング、記事の執筆・編集などを中心に活動。現在は「六本木農園」や「International TERAKOYA」にて都会と地方を繋ぐプログラムを企画・運営している。

